

■東京支部活動の報告

① 東京支部 秋季ゴルフ会のご案内

私事ではありますが、少し残念なご連絡をしなくてはならなくなりました。去る11日(日)にもう一つの趣味であるソフトボールの試合中に、外野(ライト)を守っていた際、打者の打ったボールを取ろうとして、誤って右手・親指(母指)に当ててしまい、脱臼・骨折を起こしてしまいました。16日(金)に手術を行い、ワイヤー(鋼線)2本を組み込んで整復固定、全治3ヶ月と診断されました。従って、私のみキャンセルとさせていただきます。(1組3名で実施。)

幹事役につきましては、22期 安田信男様に幹事代行をお願いし、快く引き受けて頂きました。今後、当ゴルフ会に関するご連絡が出れば、安田様(メール:nobuo.yasuda@gmail.com 携帯:070-5548-2211)宛てにお願い致します。

その他変更点については、パーティ会場が川崎国際ゴルフ場では場所が満杯の為、ゴルフ場の駐車場から約1.7Km先にあるファミリーレストラン「デニーズ・川崎菅生店」で行うべく、予約を致しました。所在地・アクセスは以下となります。

(所在地) 川崎市宮前区菅生5-23-30、TEL. 044-976-2664

(アクセス) ゴルフ場・駐車場を出て、最初の信号(長沢交差点)を左折、浄水場通りを約1Km直進、清水台交差点(尻手黒川道路との交差点)の手前、左側にデニーズ店があり。所要時間は5分程度。

予約時間;PM. 16:00~18:00 以上です。19期 田井利昭

② 東京支部の「柑蘆誌」発送準備中

東京支部の「柑蘆誌」発送準備は、順調です。大学から「和歌山大学解体新書」、県東京事務所から「和みわかやまっぷ」、The CHOYA 銀座 BAR 等のご案内も金銅先輩から送っていただきました。by草場幹事長



The CHOYA 銀座 BAR <https://www.choya.co.jp/the-choya-ginza-bar/>

梅体験専門店「蝶矢」鎌倉店 <https://kamakura.choyaume.jp/>

◆和歌山大学 ニュース

① 和歌山大学『観光・地域づくり』講座

観光地や観光ビジネスにおいて高く評価されているキーパーソンを講師に招へいします。各方面で活躍されている方々のユニークな着眼点やリーダーシップを発揮しての事業の推進、異業種を巻き込んだのコンセンサスの形成方法など、さまざまな観点からの実践事例を拝聴するなかで、和歌山県をはじめとする地域の観光 振興とまちづくりの方向性を探ります。

第3回 日時 2020年11月12日(木)19時～20時

テーマ つながりづくりと観光地づくり ～熱海市や鶴岡市の観光振興を事例にDMOを考える～

講師 木村ともえ氏 (株式会社ジェイアール東日本企画 ソーシャルビジネス開発局 部長代理)

第4回 日時 2020年11月19日(木)19時～20時

テーマ 『小さな自然を観る旅』による滞在型観光地への転換

講師 河井 大輔氏 (NPO法人 奥入瀬自然観光資源研究会 理事長)

※講義様式 : ZOOM ウェビナー機能を利用したのオンライン公開講座(ライブ配信)

※詳しくはこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/news/2020091500010/>

② 岸和田サテライト「2020年アメリカ大統領選挙とその歴史的背景」

なぜ、アメリカ社会はコロナ禍や人種差別問題に対して一致して対応できないほどに分裂を深めてしまったのか、今回の大統領選の経緯とその歴史的背景について、できる限りわかりやすく整理してお話します。

日時 2020年11月18日(水曜日)19時～20時30分

話題提供者 経済学部経済学科准教授 藤木 剛康先生

※詳しくはこちら http://web.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/pickup/pickup_102.html

③ 11月遠隔開催が決定！目指せ世界の頂上！障害者アスリートの祭典 サイバスロン

コロナウイルスの影響が収まらず9月に延期となっていた大会は、11月に再延期。開催方式も以下のように大きく変更となりました。

サイバスロン大会 <CYBATHLON 2020 Global Edition>

・開催日:11月13日(金) 予選、14日(土) 決勝

和歌山大学「RT-Movers」は、細心の注意を払いつつも、前向きに向き合い、地元でコースを準備して大会に挑みます！大会の中継など詳細は、確定次第、チームのHPなどでお伝えいたします。引き続きご声援いただけますようお願いいたします。

※詳しくはこちら <http://web.wakayama-u.ac.jp/sys/cyathlon/>

ヤフーニュース記事 ～サイバスロンが目指す当事者参加型の福祉機器開発～

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c787ad00dcf0b77f395ebaba24dcf04238e5bee3?page=6>

④ オンラインセミナー「スポーツツーリズム 5～メガイベントが日本社会を変える～」

和歌山大学国際観光学術研究センター(CTR)では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に前後して開催されるメガスポーツイベントを契機として日本社会に何が問われるのか、さまざまなトピックを取り上げています。

シリーズ第5弾は、早稲田大学スポーツ科学学術院教授の間野 義之氏を基調講演講師にお招きし、世界規模のスポーツイベントの連続開催におけるゴールデン・スポーツイヤーズ(GSYs)を活用したスポーツの成長産業のキーワードをお話しいたします。

日時 2020年12月6日(日)15時00分～17時00分

会場 Zoom ウェビナー(オンライン)開催

※詳しくはこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/news/2020102800023/>

⑤令和2年度「第10回ホームカミングデー」はバーチャルで！

今年のホームカミングデーは、新型コロナウイルス感染症拡大により参加者、関係者の健康・安全面を第一に考慮し、感染リスクを回避するため誠に残念ながら、例年のように栄谷キャンパスに一堂に会しての実施は断念することとなりました。

・開催期間 令和2年10月24日(土)～12月6日(日)

※詳しくはこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/about/homecoming10th/>

⑥ 観光学部:加藤久美教授が日本人初！Global Sustainable Tourism Councilの理事に選出

和歌山大学 観光学部の加藤久美教授が、グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会 Global Sustainable Tourism Council (GSTC)の理事に選出されました。日本人初の就任となります。

加藤教授は観光庁・UNWTO 駐日事務所によるプロジェクト「日本版 持続可能な観光ガイドライン」の開発にも関与しており、「コロナ禍において「持続可能性」への関心は益々高まってきています。この役割を通じて、日本、アジア太平洋地域、そして世界の持続可能な観光の推進に貢献するとともに、またそこに学生の皆さんも参加できる機会を作っていくことができれば嬉しいです。」とのことでした。

※詳しくはこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/news/2020082000024/>

⑦ システム工学部「次世代ロボット生産システムのためのマニピュレーション研究」

和歌山大学システム制御研究室ロボット・マニピュレーショングループでは、次世代ロボット生産システムへの応用を目指した研究として、人間の手の形にとらわれず目的の作業の遂行に必要な機能の実現を重視したロボットハンドの開発と、そのようなハンドによる対象物の把持・操作戦略の計画に関する研究を主として行っています。

※詳しくはこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/cijr/sangaku/mm2-news/2020092300046/>

《現役生・卒業生活動》

■ クロスオーバーホルン奏者 東谷慶太さん(教育30期) 音楽番組を無料配信中♪



KEITA MUSIC ROOM 第2シリーズ

ときめき 作曲 鬼武みゆき

2020年9月21日 かながわアートホール 収録

HORN 東谷慶太 PIANO 鬼武みゆき

<https://youtu.be/S0AQkJmyBnw>

<https://www.youtube.com/user/PopCorneProject>

東谷慶太オフィシャルサイト

<https://keita-higashitani.com>

■ ヨット部 全日本学生ヨット選手権大会 出場

先日10月10日(土)・11日(日)新西宮ヨットハーバーで行われた【令和2年度関西学生ヨット選手権大会(関西インカレ)】において、470級第2位、総合第3位の好成績を収め全日本学生ヨット選手権大会に出場することとなりました。

<http://kansaikurenyacht.com/race.html>

第85回全日本学生ヨット選手権大会

<http://www.kansaikurenyacht.com/85th/top.html>

関西学生ヨット個人選手権大会で村瀬慎太郎(経済学部3年生)・犬伏亮太(経済学部1年生)ペアが3位入賞を果たし、全日本学生ヨット個人選手権大会への出場が決まっています。

芦火

第681号

2020.11



今月の表紙

蓮根(はすね)掘る

令和2年11月1日 柑芦同人誌 芦 火 第681号

清記を終えて 2

681号

○ 純一さんの散歩道の自然、今月は彼岸花(曼珠沙華)である。彼岸花の球根の毒でモグラの被害を避けるため畦道に種えられたという説もある。田圃に多く咲くのでそう言われるのか。見事な赤がまぶしい。豊作の稲とのコントラストも見事である。

○ 今年は仲秋の名月が結構美しく見えた。コロナ禍の愁めでもあった。地元では今コスモスが美しい。江戸時代の終わりが明治の初めに日本に入ってきたそうだ。コスモスはギリシアで「調和」や「美しい」という意味だそうだ。年々カラフルになっている。また朝の散歩で金木犀の香りに驚く。季節を違えない自然に頭が下がる。金木犀は銀木犀の亜種だそうだ。私は控えめな銀木犀が好きである。

○ 菅首相の船出となった。デジタル庁、統治機構改革など一連の政策に国民は行政改革を期待。そして問題になったのが「学術会議の任命権問題」。学問の自由の侵害と鼻息荒く批判する。学術会議の首脳陣。今まで「学術会議」については殆ど知らない国民にとって、マスメディアの報道で実態が垣間見えてきた。確かに6名を除外した理由は明確でない。一方で学問の自由と言いつけるほどのものであるかは、北海道大学に厳しい圧力をかけていた実態も見えた。高飛車に首相、庶民は口を出さずと言わんばかりの高姿勢には本心に学者なのかと疑問がわく。国費10億円が妥当な使い方か。学問の自由が担保されないなら、政治からの独立組織になるのも一つの考え。口は出さず、金は出せ。どこかで聞いたセリフのようだ。

○ アメリカ大統領の選挙が11月初め。誰がなるかで世界の政治、経済に影響を受ける。しかし我々日本人は遠べないので、じっと見ているしかない。どちらになっても日本の国益を優先する外交が待っている。ぼっといきてるんじゃねーよ。いわれないようにしたい。

◎ 本高得点者

18点 穂心 17点 純一 16点 草炎 15点 惠吾 勝 13点 碧玄
12点 としを 11点 福州 10点 要 9点 六甲、順一郎

◎ 本号高得点句

7点 御朱印の墨跡香る秋暹路 穂心
7点 殉教の島や流星降るごとく 勝
5点 腰据る手筒花火の男意気 碧玄
5点 秋の日や海に向かひて椅子一つ 純一
5点 ゆく雲の白きを写し水澄めり 草炎

惜しい！4点句 ひよいと出てにらにし袴 慕終ひ草炎 一切れの要
顔欠くる惠吾 終電車温州 晩字の六甲 またたきて順一郎
デラウエア穂心、一房が草炎 水澄むや純一

◎ 次号系匠「切捨て御免」担当 穂心

兼題 蓮根(はすね)掘る 近年の蓮根は栽培技術の向上で6〜8月に掘られるようになった。しかし正月用の需要が多く昔ながらの葉が枯れたあとの11〜12月に収穫する生産者も多い。最近では機械化で泥の中の蓮根を水と空気で浮き上がらせ、労働も軽減されてきた。伝統俳句では収穫最盛期が正月に向けた冬であることから冬の季節となき蓮根掘 福山広秋
・ 怠けたくとも岸過ぎ蓮根掘 麗羽狩行 泥の他身の支えなき蓮根掘 茨木和生
・ 頭の泥ぬぐふ手あらず蓮根女 片山由美子 田嶋を掴みだしたる蓮根掘 大橋松坡子
・ 手探りで来た人生や蓮根掘る すずき春雪 透くる水あつまる水や蓮根掘る

◆和歌山関連 ニュース

① 和歌山オンラインワーケーション」イベントを開催

“ワーケーション導入に特化したガイドンスウェビナー”と“和歌山ワーケーションスポットのバーチャルツアー”を盛り込んだ、ワーケーションに関心のある方必見のオンラインイベントを開催！ワーケーションの聖地・和歌山のすべてを体感してください。

期間:令和2年11月12日(木)～令和2年11月13日(金)

参加方法:オンライン(Zoom ウェビナー) 無料

問い合わせ先:和歌山県 情報政策課

※詳しくはこちら https://wave.pref.wakayama.lg.jp/020400/workation/event_201112.html

② 警察を動かした和歌山のベンチャー企業「電動バイク」メーカーの秘策

電動キックスクーターを手がける glafit (グラフィット) は 2020 年 10 月 28 日、東京都内で記者会見を開き、同社の「glafit バイク」に走行運用での特例が認められたと発表した。今回、認められた特例とは、glafit が販売済みのペダル付き glafit バイク「GFR-01」に対し、「自転車」と「電動バイク」の切り替えが認められるようになったことだ。

これにより、原付としてナンバーを取得した glafit バイクでも、これに対応する新機構を装着することで、自転車モード時は道交法上、普通自転車と同じ扱いが受けられる。この特例は、内閣官房の新技术等実証制度(規制のサンドボックス制度)を活用して実現したもので、この制度が施行されて以降、モビリティ分野で結果を出したケースは初めてという。 ※東洋経済 <https://toyokeizai.net/articles/-/386166>

glafit 株式会社(グラフィット、本社:和歌山県和歌山市、代表取締役社長:鳴海禎造氏)

<https://glafit.com/>

ニュースリリース <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000030.000031007.html>

③ 和歌山県ふるさと納税型クラウドファンディング 参加企業プレゼン会

和歌山県が初めてふるさと納税を活用したクラウドファンディングでベンチャー支援を実施中。審査を勝ち残った7社がクラウドファンディングに挑戦中です。この度、紀友会会員様に事業者が直接プレゼンする企画を実現しました！すでに目標額をクリアしている事業者もいますし、まだまだがんばっている方もいます。是非、新しい取り組みを知っていただくとともに、和歌山発の熱い思いを聞いてください。

開催日:2020年11月10日(火)

■プレゼン会 18:30～19:30 3分プレゼン+質疑3分 7社

問い合わせ先:紀友会 or 和歌山県東京事務所 <http://kiyukai.com/concept>

■東京発！わかやま情報は、和歌山県東京事務所をクリック♪

東京を中心とした首都圏での『和歌山』に関連した情報を発信しています。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/tokyo/index.html>

文・編 47期 中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック <https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会東京支部

柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00～18:00 土曜日:9:00～15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。 e-mail: tokyo@kourokai.com